

## 武蔵野銀行「むさしのグリーン定期預金」フレームワーク

### 1. サステナビリティへの取り組み

武蔵野銀行は、地域の持続的な発展に向け、経営理念に基づく事業活動を通じて、地域が抱える社会課題、環境課題の解決に取り組んでいます。武蔵野銀行のこのような事業活動の取り組みは、世界的に関心が高まっている、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）と考え方を同じくするものであり、SDGsに対する基本的な方針として「サステナビリティ基本方針」を制定し、事業活動との一体性を高めることで、持続可能な地域社会の実現（サステナビリティ）を目指しています。

#### <サステナビリティ基本方針>

武蔵野銀行グループは、持続可能な地域社会の実現に向けて、本業である金融仲介機能の発揮等に加え、気候変動や脱炭素といった環境問題や人権問題など、地域社会を取り巻くさまざまな課題解決に向けた活動に取り組み、中長期的な視点で経済価値と社会価値の両立を目指してまいります。

これらの活動について、グループ役職員一人ひとりが当事者意識を持って、誠実かつ積極的に取り組むとともに、適時適切な情報開示を行い、ステークホルダーの皆さまとのより良い信頼関係を育み、創立以来不変の経営理念の一つである「地域共存」を体現してまいります。

### 2. むさしのグリーン定期預金の位置付け

武蔵野銀行では、お客さまの環境・社会課題解決、脱炭素社会の実現に資するファイナンスを「サステナブルファイナンス」と位置づけ、取り組みを強化してまいりました。「むさしのグリーン定期預金」（以降、「グリーン預金」という）は、当行のサステナビリティ活動への取組において、預金と融資をつなげる形で実践するものです。

#### <むさしのグリーン定期預金の概要>

- (1) 通貨：円
- (2) 募集対象：法人
- (3) 最低預入額：1,000万円
- (4) 預入期間：1年
- (5) 適用利率：大口定期預金金利

### 3. 調達資金の使途

武蔵野銀行は、グリーン預金を通じて調達した資金を、以下の適格基準を満たすプロジェクト（適格プロジェクト）への新規および既存の融資案件に充当します。調達資金の全部または一部を既存の融資案件に充当する場合、遡って5年以内に実行された融資案件を対象とします。

カテゴリ	資金使途
再生可能エネルギー	太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電（持続可能な原料または廃棄物由来のものに限る）、小規模水力発電、蓄電池（容量市場、卸電力事業、需給調整市場等の電力市場を活用して電力事業を行う、蓄電池事業に対する融資）
エネルギー効率	以下の評価を得た新たな建物の建設、購入または既存建物の修繕 ・ZEH：ZEH Oriented 以上 ・ZEH-M：ZEH-M Oriented 以上 ・ZEB：ZEB Oriented 以上 ・LCCM：一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター等第三者機関が発行した LCCM 住宅認定書を取得しているもの

### 4. 適格プロジェクトの評価と選定プロセス

#### (1) 環境面の目標

本件グリーン預金の環境面の目標は気候変動の緩和です。

#### (2) プロジェクト選定における適格基準の適用

適格プロジェクト及び適格基準の設定および「サステナビリティ基本方針」「武蔵野銀行 SDGs 宣言」「環境方針」「投融資方針」に掲げる取組方針との整合性の確認は、本件の企画部である法人コンサルティング部法人企画グループにて行います。適格プロジェクトへの投融資案件は、融資部が融資審査を実施の上、対象投融資を所管する法人コンサルティング部法人営業グループにおいて適格性を確認し選定します。選定結果は法人コンサルティング部法人企画グループが集計の上、確認します。

## 5. 調達資金の管理

本グリーン預金による調達資金の充当管理は法人コンサルティング部法人企画グループが行います。本グリーン預金による調達資金総額、使途への充当済資金、未充当資金は、電子ファイルにて管理します。全ての調達資金が充当されるまでの間は、未充当額と充当額の合計が調達資金全額と整合するように管理し、これらの確認はグリーン預金から対象使途への資金充当があった都度実施します。全てのグリーン預金による調達資金が充当された後は、調達資金額が調達資金から使途へ充当された累計額と一致するよう、また、使途へ充当された累計額が預金資金額を上回るように管理することとします。未充当金額が発生した場合には、現金または現金同等物等で運用します。

## 6. レポートニング

### (1) 充当状況のレポートニング

グリーン預金の適格プロジェクトへの充当状況については、以下の項目につき、少なくとも1年に1回以上、武蔵野銀行のWEBサイトにて開示します。

- ・グリーン預金残高
- ・充当したプロジェクトの内容と融資残高
- ・未充当金額

### (2) インパクトレポートニング

グリーン預金の残高が存在する限り、以下の指標につき、少なくとも1年に1回以上、武蔵野銀行のWEBサイトにて開示します。

- ・CO2 排出削減（見込）効果（t-CO2）
- ・建物における取得した認証と棟数

(3) 大きな状況変化があった場合の対応大きな状況変化があった場合は、状況を確認したうえで武蔵野銀行のWEBサイトにて開示します。